

答えは1つじゃない

KITはシステム開発メーカーです。では、システム開発の差別化は何でしょう？

KITのリピーターから、「提案書が気に入った」と御評価いただいておりますので、御紹介させていただきます。

例えば、「移動物体を検出する画像処理装置が欲しい」と、御依頼を受けたとします。まず、お客様の御要求の中からコスト、納期、性能のバランスを一緒に協議させていただき、御提案書を作成させていただきます。

内容としては、1概要、2方式比較、3ブロック図、4スケジュール、5コスト、6今後の課題となりますが、特に方式比較が御好評なので、この例を御紹介します。



	方式説明	メリット	デメリット
A案	●画像入力部だけを新規開発し、パソコン上のソフトで全ての処理を行う	●開発期間が最も短い ●ソフトなので、柔軟性がある	●処理速度に限界がある(パソコンに依存する)
B案	●画像入力と、画像処理部をハード化(PCI)し処理結果の利用だけをパソコンで行う	●処理速度が早い ●性能/コストのバランスが良い	●リピート時にも、パソコンが必要(安定した入手が難しい) ●信頼性もパソコンに左右される
C案	●画像処理から、制御CPUまで全て専用ボードとして開発する	●処理速度が最も早い(ボトルネックは無) ●リピート生産時のコストが安い	●開発コストが最も高い



弊社の実績カタログを御用意しております。お気軽に御請求ください。

<http://www02.so-net.ne.jp/~kit/>

各社製品名は各社の商標または登録商標です。

Knowledge
Imaging
Technology

KIT

システム開発専門業社
株式会社

ケーアイテクノロジー

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央19-1 タウンスクエア3階 TEL:045(949)5331(代) FAX:045(949)5332